

2023年度（2024年3月期） 第1四半期連結決算概要および通期見通し

1.2023年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収増益：増収は2期連続、増益は2期連続（純利益ベース）

都市ガス販売量	△ 391百万m ³	：工業用（発電専用）需要減 等
電力販売量	△ 2,167百万kWh	：卸供給先の需要減による販売量減 等
売上高	+397億円	：原料費調整に伴う単価増などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高増 等
営業費用	△ 20億円	：都市ガス・電力販売量減などによる「エネルギー・ソリューション」の原材料費減 等
営業外損益	+78億円	：デリバティブ差損益 +54億円、為替差損益 +10億円 等
特別損益	+24億円	：（当期）投資有価証券売却益 +24億円 ：（前期）発生なし

<2023年6月末現在連結会社数：連結子会社 101社、持分法適用関連会社17社>

（単位：億円）

決算実績表	2023年度1Q	2022年度1Q	増減	%
売上高	6,496	6,099	397	6.5
営業費用	5,567	5,587	△ 20	△ 0.4
営業利益	929	512	417	81.6
経常利益	1,072	577	495	85.9
親会社株主に帰属する当期純利益	776	384	392	102.1

<参考値>（符号は利益に対する影響を示す）

スライド差(※)	497	215	282
年金数理差異償却額影響	5	△ 10	15

(※)原料費調整制度で参照する平均原料価格と足元の原料価格とのタイムラグ等による利益影響。

経済フレーム	2023年度1Q	2022年度1Q	増減
為替レート(¥/\$)	137.49	129.73	7.76
原油価格(\$/bbl)	83.99	110.65	△ 26.66
平均気温(°C)	19.5	19.0	0.5

(2)都市ガス・電力販売量

			2023年度1Q	2022年度1Q	増減	%
都市ガス	家庭用	百万m ³	612	657	△ 45	△ 6.8
	業務用	百万m ³	476	446	30	6.8
	工業用	百万m ³	1,031	1,393	△ 362	△ 26.0
	計	百万m ³	1,508	1,839	△ 331	△ 18.0
	他事業者向け供給	百万m ³	346	361	△ 15	△ 3.9
	合計	百万m ³	2,466	2,857	△ 391	△ 13.7

家庭用：高気温影響等による需要減

業務用・工業用：発電専用需要減等

他事業者向け供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,749（対前期+60）※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,350（対前期+127）※取付メーター数は、導管事業者としてのメーター取付数。

			2023年度1Q	2022年度1Q	増減	%
電力	小売	百万kWh	2,462	2,283	179	7.8
	卸他	百万kWh	2,800	5,145	△ 2,345	△ 45.6
	合計	百万kWh	5,262	7,429	△ 2,167	△ 29.2

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要減

小売お客さま件数(千件)：3,612（対前期+522）※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益			
	2023年度1Q	2022年度1Q	増減	%	2023年度1Q	2022年度1Q	増減	%
エネルギー・ソリューション	5,845	5,586	259	4.6	826	388	438	112.4
ガス(ネットワーク除く)	3,850	3,319	531	16.0	671	286	385	134.2
電力	1,427	1,532	△ 105	△ 6.9	112	40	72	177.8
ネットワーク	841	886	△ 45	△ 5.1	△ 18	23	△ 41	—
海外	315	350	△ 35	△ 10.0	122	160	△ 38	△ 23.5
都市ビジネス	188	149	39	25.5	69	40	29	69.2
調整額	△ 693	△ 873	180	—	△ 52	△ 87	35	—
連結	6,496	6,099	397	6.5	946	525	421	80.0

(注)「ガス(ネットワーク除く)」には都市ガス(ネットワーク除く)・LNG販売・トレーディングを含みます。

セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。

「エネルギー・ソリューション」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング、電力、I/Oソリューション、ガス器具、建設、クレジット、情報処理サービス、船舶等を含みます。

セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

(4)主要計数

（単位：億円、%）

	2023年度1Q	2022年度1Q	増減		2023年度1Q	2022年度1Q	増減	
設備投資	401	446	△ 45	D/Eレシオ	0.77	0.81	△ 0.04	0.72
営業キャッシュ・フロー	1,283	891	392	ROA	2.2	1.2	1.0	※発行済みハイブリッド社債・ローンの資本性50%を調整
有利子負債	12,451	12,632	△ 181	ROE	4.9	3.0	1.9	

(注)有利子負債、D/Eレシオは2023年3月末との比較

2.2023年度 通期見通し <対前回(4.26)見通し>

(1)通期見通しのポイント

対前回 減収増益 対前期 減収減益（純利益ベース）

都市ガス販売量	△ 104百万m ³	：発電需要減に伴う工業用の減等
電力販売量	△ 2,059百万kWh	：卸向け販売量減等
売上高	△ 2,050億円	：原料費調整に伴う単価減などによる「ガス」の売上減、販売単価減などによる「海外」の売上減 等
営業費用	△ 2,050億円	：原油価格下落影響などによる「ガス」の原材料費減 等
営業利益	± 0億円	：「ガス」の利益増、「海外」の利益減 等・ ※2Q以降の経済フレーム（原油価格90\$/bbl→80\$/bbl、為替レート130円/\$→135円/\$）

（単位：億円）

	今回	前回	増減	%	2022年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	11,905	12,009	△ 104	△ 0.9	12,574	△ 669	△ 5.3
電力販売量(百万kWh)	26,730	28,789	△ 2,059	△ 7.2	34,445	△ 7,715	△ 22.4
売上高	26,920	28,970	△ 2,050	△ 7.1	32,896	△ 5,976	△ 18.2
営業費用	25,420	27,470	△ 2,050	△ 7.5	28,681	△ 3,261	△ 11.4
営業利益	1,500	1,500	0	0.0	4,214	△ 2,714	△ 64.4
経常利益	1,370	1,370	0	0.0	4,088	△ 2,718	△ 66.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,010	1,000	10	1.0	2,809	△ 1,799	△ 64.0

経済フレームほか	今回	前回	増減	2022年度	増減
為替レート(¥/\$)	135.62	130.00	5.62	135.50	0.12
原油価格(\$/bbl)	81.00	90.00	△ 9.00	102.67	△ 21.67
平均気温(°C)	16.4	16.3	0.1	16.8	△ 0.4
スライド差(億円)	600	393	207	2,108	△ 1,508

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(2Q以降)（単位：億円）

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	29	38	△ 9
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	19	30	△ 11